

令和6年度実施 協働事業

事業提案書(案)

目次

● 市民提案型協働事業

- ① 特別支援学級へ、リズムミックを取り入れた支援…………… P1

令和5年6月
平塚市

(宛先)
平塚市長

団体名	あいあいリトミック
代表者	相原 真由美
事業担当課	子ども教育相談センター
提案型	<input type="checkbox"/> 行政提案型 <input checked="" type="checkbox"/> 市民提案型 (■ 自由部門 <input type="checkbox"/> テーマ設定部門)
新規・継続	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 (提案1年分) <input type="checkbox"/> 継続 (令和 年度～)

協働事業について、次のとおり事業提案します。

1 提案内容 (事業担当課との意見交換をもとに、具体的に詳しく記入してください。)

① 事業名	特別支援学級へ、リトミックを取り入れた支援	
② 事業の目的・必要性 なぜこの事業が必要か、どのような市民サービスの向上が図られるのかなど。	<p>生の音楽を使い、教育法の一つであるリトミックを用いて、コミュニケーション能力向上や心身の調和がとれた支援を行う事を目的としている。</p> <p>リトミックを用いて、一斉の活動へ参加の難しい児童も身体を自由に動かしてもらい・言葉の表現が苦手な児童は音で表現する・動と静をリトミックで体験することで生活にメリハリがでる・リズム感が養われる事で生活リズムが整う・新しい刺激を与えることで好奇心が芽生える・自分から進んで動くことで自立を促すなどの、QOLの向上が見込める。生活するうえで切り離すことのできない“音”との関わり方を専門的にサポートすることで、児童の笑顔を引き出せるだろう。</p>	
③ 協働の必要性・メリット なぜ、市と協働で実施したいのか、協働することの必要性を記入してください。 また、市民・団体・市のメリットをそれぞれ具体的に記入してください。	必要性	音楽家による演奏を使用した支援を、児童に届けることができる。
	メリット	(市民のメリット：市民が受けられるサービスや解決される課題など) 生の音楽を体験するよい機会になる。また音楽を通じて自分の身体(五感+筋肉の感覚)を使うことで心と身体の調和が取れ、次の活動にも落ち着いて取り組み、集中力にも繋がる。 音楽による刺激により個々の反応を引き出すことで、心を開き相手を受け入れることにつながる。コミュニケーション能力に不安のある児童にとっては、多様化する社会に必要な能力を身につける補助となる。
		(団体のメリット：行政が持つ情報等の活用や信頼性の確保など) 行政が調整や連絡を担ってくれることで、円滑に事業を行うことができる。
		(市のメリット：団体が持つ専門性やノウハウの活用など) 市が取り組んでいるインクルーシブ教育に協力できる事業と成り得る。

<p>④ 事業のアピールポイント</p> <p>この事業の先駆性、先進性、創意工夫、事業の売りや熱い思いなどアピールできることを記入してください。</p>	<p>我々団体は施設と連携を取りながら個別のプログラムを組み、学校にある身近な楽器や道具を使用し活動する。しかし楽器など、使用できない場合は団体が持ち込むなどして、臨機応変に対応しながら協力したい。また自宅でもリトミックができるように、団体が用意した製作楽器を渡し、その場で終わる事なく次に繋がる工夫も行う。</p> <p>マスク生活になり他人の表情が読みづらくなっていることは、障がいのある児童にとってコミュニケーションが取りづらくなっている一つの原因となっている。リトミックを体操と捉えることで、マスクを外して活動できる環境が作れる。</p> <p>児童の笑顔を第一に考え、自立支援につながるよう音楽の専門性を駆使していく。</p>
<p>⑤ 事業概要・計画</p> <p>スケジュール・人員配置など時系列、箇条書きで具体的に記入してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1施設 年2回 <ul style="list-style-type: none"> 1時限やフリータイム時間を使って行う あいあいリトミック2人～3人 ・ 打合せ2～3人 <ul style="list-style-type: none"> 担当者と打ち合わせ・プログラム作成・楽器製作 学校との電話連絡 ・ 反省会3人 <ul style="list-style-type: none"> 教師にアンケートをとり、それを基に反省会を開く 行政や施設へ報告
<p>⑥ 役割分担</p> <p>団体、市の役割を具体的に記入してください。</p>	<p>(団体の役割)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業内容制作。 ・ 事業にかかる事務的作業・運搬作業を担う。 ・ 事業にかかる機材や道具を準備する。 ・ 製作楽器を作る。 <hr/> <p>(市の役割)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校と団体とをつなぐ。 ・ 行政として団体へ助言をする。
<p>⑦ 他団体との連携</p> <p>この事業に関し、他団体等と連携の実績や予定があれば記入。</p>	

令和 6年度「事業」収支予算書（協働事業だけの金額を記入してください）

事業担当課 子ども教育相談センター

事業名	特別支援学級へ、リトミックを取り入れた支援		
総事業費	37,900円	市の支出	35,900円
		団体の支出（他の収入等）	2,000円

① 収入

金額単位：円

項目	予算額	内 容
市の支出	C 35,900円	製作材料費 6,600円 設備費 7,500円 事務費 3,000円 交通費 18,800円
団体の支出	2,000円	団体の他の収入から支出
事業収入	0円	
	円	
収入合計	A 37,900円	

② 支出

項目	予算額	うち市の支出分	積算単価など具体的な内容
製作材料費	6,600円	6,600円	製作楽器 100円×33人×2回
設備費	9,500円	7,500円	ペーパーサート 2,500円 楽譜 2,000円=団体から支出 ロリポップドラム 5000円
事務・消耗費	3,000円	3,000円	PC用紙 500円・色画用紙 500円・シール 500円 ペーパーサート紙 500円・テープ 500円・糊 500円
交通費	18,800円	18,800円	電車代往復 1,200円×2回×2人 バス代往復 1,000円×2回×2人 運搬車用ガソリン代 2,500円×2回×2台
	円	円	
	円	円	
支出合計	B 37,900円	D 35,900円	

- ※ 収入合計 A と支出合計 B 及び市の支出 C と支出合計 D は同額となります。
- ※ 市の支出の他に、県やその他の助成金がある場合は、収入・支出に明記してください。
- ※ 事業の実施及び予算は3月議会での承認により決定されます。
- ※ 協働事業の費用負担の大部分は市の支出であり、事業担当課が主体となり積算作業を行うべきものであることから、本収支予算書は事業担当課の責任において作成する書類となります。

